

事業所名

きあら中町教室

支援プログラム

作成日

2026 年

4 月

22 日

法人（事業所）理念		お子様と保護者様、職員が共に笑い、ともに育ち、ともに生きる			
支援方針		お子様の特性を詳細に理解し、お子様一人ひとりに合った療育を提供します。保護者様や関係機関と密に連携を取り、お子様が成長するための環境を整えることに努めます。			
営業時間		9 時	0 分から	17 時	30 分まで
		送迎実施の有無		あり	なし
支 援 内 容					
本人 支援	健康・生活	手洗い、排泄、身支度、食事、片付け等の生活動作について、一人ひとりの発達段階に合わせて支援します。活動の見通しを持てるように視覚的手がかりや環境調整を行い、安心して日常生活に参加できる力を育みます。			
	運動・感覚	作業療法士の視点を活かし、姿勢保持、体幹、粗大運動、手指の巧緻性、感覚調整、ビジョントレーニング等を遊びの中で支援します。身体の使い方や感覚の特性を踏まえ、成功体験を積み重ねられる活動を提供します。			
	認知・行動	色・形・数・順番・空間認知などの課題に取り組み、見て理解する力、考えて行動する力を育てます。ABAの考え方を取り入れ、行動の背景を分析し、適切な行動が増えるように環境設定や声かけを工夫します。			
	言語 コミュニケーション	お子様の理解力や表出方法に合わせ、言葉、身振り、視覚支援、選択肢提示などを用いて、伝えたい気持ちを表現する力を支援します。要求、報告、やり取り、聞く力などを日常の遊びや活動の中で育みます。			
	人間関係 社会性	大人や友達との関わりの中で、順番を待つ、貸し借りをする、気持ちを伝える、相手との距離感を学ぶなど、社会性の発達を支援します。小集団活動や個別活動を通して、安心して人と関われる経験を積みます。			
家族支援		保護者様の見学を推奨し、療育内容の意図や家庭での関わり方を分かりやすく共有します。必要に応じて面談や相談を行い、家庭でのお困りごとを一緒に整理し、無理なく取り組める支援方法を提案します。	移行支援		就園・就学、進級、他事業所利用等に向けて、お子様の特性や必要な配慮を整理し、保護者様と共有します。必要に応じて関係機関と情報共有を行い、環境の変化に安心して適応できるよう支援します。
地域支援・地域連携		保育園、幼稚園、相談支援事業所、医療機関、行政機関等と必要に応じて連携し、支援方針や関わり方を共有します。お子様が家庭・園・地域で一貫した支援を受けられるよう、対面・電話・オンライン等で連携を図ります。	職員の質の向上		職員会議、ケース検討、支援記録の振り返り、外部研修等を通して専門性の向上に努めます。作業療法士、保育士、公認心理師、社会福祉士、児童発達支援管理責任者等の多職種で検討し、支援の質を高めます。
主な行事等		制作活動、運動遊び、感覚遊び、保護者参加型の体験機会等を必要に応じて実施します。行事においても、お子様が無理なく参加できるよう特性に配慮し、楽しい成功体験につながる内容を工夫します。			